



自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年11月20日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

「令和3年度南関中学校生徒会役員選挙」

新生徒会役員 決定

生徒会長	長谷川 奏風さん
副会長	三良 強太さん
副会長	島田 結衣さん
書記・会計	宮本 一磨さん
書記・会計	伊藤 妃菜さん



選挙管理委員会を代表してあいさつする委員長の池田心さん



16日(月)は、生徒会役員選挙の立会演説会・投票が行われ、即日開票により上の5人が新生徒会役員に決定しました。

18日の朝からは、早速新生徒会のメンバーが正門に立ってあいさつ運動を開始しました。新たな

南関中の伝統を築くために、頑張ってくれることを願っています。投票の結果で、思いがかなわなかった人たちもいましたが、立候補することを決断して、全校生徒の前で思いを語ったことは、必ず自分自身の成長につながっています。演説で語ってくれた学校づくりの思いを持ち続け、新役員と一緒に南関中発展のために頑張ることを強く願っています。

堂々と演説する姿に感動！

候補者と責任者合わせて4分間の持ち時間で演説を行いました。壇上で発言する一人一人の姿に終始感動するほど立派な態度でした。あらためて南関中生徒のすばらしさを思い知りました。演説を聞きながら、以下のようにメモしました。

- ・全員が原稿を持たず発言している。
- ・聞く側にとっては、聞きやすい声の大きさと早さ、言葉一つ一つを大切に伝えている。
- ・口調に強弱をつけながら、特に伝えたいことを強調している。しっかり思いが伝わっている。
- ・学校の現状をよく分析して、課題に対する方策、良い所を伸ばす内容を整理している。
- ・責任者は、候補者の素晴らしい人柄や学校生活での活躍を具体的に伝えている。
- ・視線を上手に移動させながら、聞く者全てに訴えかけている人がいる。

閉会時に古川教頭先生が以下のように、講評を言っています。

とても内容のある立会演説会でした。校長先生が開会式で「立候補することは、一歩前進です」と言われましたが、演説会を終えて、二歩も三歩も前進したと思います。南関中が目指す3つの言葉ありますが、各自の発表の中に「夢」「絆」を思わせる内容がたくさんありました。また、立候補することで自分に「挑戦」しようという態度をひしひしと感じました。とても良い時間を過ごすことができました。

「二町ブロック特別支援学級合同レクリエーション大会」参加



11月18日(水)は、合同レクリエーション大会が行われました。昨年度から、和水町の小中学校と行うようになり、本年度は7校が参加して、他校の児童生徒と交流を深め楽しい時間を過ごしました。最初に代表児童が今日のため「なかよくする」「ルールを守って楽しくする」を発表してくれ、10種類のゲームを楽しみました。中学生は、グループのリーダーを務め小学生のお世話もよくして、お兄さん・お姉さんらしさを見せてくれました。閉会式では、南関中の3年生男子が自ら進んで感想を述べてくれました。

「ストレス対処教育」(11/12)

各学年1時間の計画で、スクールカウンセラーの鶴美弥先生が講話をされました。この日は、1年生と3年生が行われ、2年生は来年の1月に行う予定です。そのため、講話の全てを紹介する事ができませんので一部だけ紹介します。大人の私たちが聞いていても参考になる内容ばかりでした。ストレスに対処するためには、ソーシャルスキルを鍛えることが大切です。

「ソーシャルスキル」とは

ソーシャル(社会的)・スキル(技)という意味です。

上手に自分の気持ちや考えを伝えることができ、ストレスをため込まない大切な能力です。例えば、

初めて会った人と親しくなりたいときは？

- 1 あいさつから始める
あいさつの言葉に、その人の名前をつけると、もっと良い「〇〇さん、おはよう」
- 2 やさしい言葉をかける
困っているときに助けたり、安心するような言葉をかけると、関係性がぐっと近くなる。
- 3 手伝いを申し出る
「手伝おうか」と聞くと断れるので、「手伝うよ」という言い方だと受け入れられる。
※名前を付けたり、言葉の言い回しを少し変えるだけで、相手に与える印象が変わってくると学びました。



次の「とっば食堂」は、
12月4日(金)